

書評

MISSION MANAGEMENT

対話と信頼による
価値共創型の組織づくり



- 著 武村雪絵
- 定価 本体 2600 円＋税
- 発行 医学書院

評者

関東学院大学大学院看護学研究科 委員長・教授
金井 Pak 雅子

看護管理者としての実践と理論が深く結びついた 1 冊

明確なミッションのもと、 いかに組織を動かしていったか

本書は、武村氏が大学院修了後に研究者としての道を歩み、そして副看護部長さらには看護部長としてその役割を遂行していく過程において、看護管理者として明確なミッションのもと、いかに組織を動かしていったかについて、理論に裏付けられた実践を記した書である。

第 1 部では、管理者としての自己を支えるミッションとエンパワメントについて、第 2 部では、組織運営に関するマネジメント理論、第 3 部では武村氏の博士論文を基に看護師のキャリア発達支援について、第 4 部では、組織活性化の取り組みについて、まさに理論と実践とを融合させ、大変分かりやすい文章スタイルで表現されている。

いかに「人」を大事にするか

評者が特に感銘を受けたのは、第 2 部のマネジメント理論の解説である。科学的管理論の父といわれたフレデリック・テイラーから始まり、ホーソン実験で有名なエルトン・メイヨー、組織論で有名なチェスター・バーナード、ピーター・ドラッカーなどの理論を「人」をキーワードとして、それぞれの理論家はその時代の情勢を鑑みながら構築した理論の変遷を紹介するのみならず、それらのマネジメント理論から管理者としていかに「人」を大事にするか、武村氏自身の熱い想いが描かれている。

さらに、第 3 部では、管理職の使命のひとつでもある「人を育てる」ことについて、博士論文で取り組んだ内容から、「組織ルール」「固有ルール」および「個人」との関係を変えて分かりやすい構図を用いて解説している。管理職がそれぞれのスタッフのキャリア発達段階を意識し

てどのように支援したらよいか、とても参考になる。

管理者にとってのキーワード 「ミッション」と「エンパワメント」

武村氏は、著書の中で管理者にとって大切なことは、「ミッション」と「エンパワメント」と記している。

エンパワメントに関して、2016 年 8 月に行われた第 20 回日本看護管理学会の大会長講演で、武村氏はラシンジャー博士（カナダの看護研究者）が開発された「構造的エンパワメント」の 6 つの下位概念を活用した自身の管理実践について解説された。ラシンジャー博士のワーク・エンパワメント理論は、評者も博士論文で使用した経緯があり、日本においてもラシンジャー博士の理論の活用が広まっていくことを実感した（ラシンジャー博士は、残念ながら 2016 年 10 月 29 日にご病気のため逝去された）。

読んでいううちに 思わず理論に引き込まれる

本書の強みは、なんといっても武村氏が 9 年間にわたる看護管理者としての実践を、無理なく理論と結び付けているところである。読んでいくうちに思わず理論に引き込まれるという感覚である。その意味でほかに類を見ない書籍であり、これから管理職になる人、現在管理職にある人、看護管理学専攻の大学院生にぜひお勧めしたい。